

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：血液内科基礎プログラム

病院名：渋川医療センター

2. 診療科（専門領域）：血液内科

3. コースの概要

留学期間中、血液内科にて血液疾患の症例を経験する。

4. 短期目標

血液疾患（良性疾患、造血器悪性腫瘍）の診断に必要な基礎的知識、検査法、また各疾患の治療法（免疫抑制療法、化学療法、自家末梢血幹細胞移植）の基本を修得することを目的とする。血液疾患は全身の合併症も多く、感染症に対する予防、治療の他、輸血などの支持療法についても習得を目指す。また広く内科全般に渡る基礎的臨床力、内科診断学の知識、考え方、技法の取得を目標とする。

5. 長期目標

専門領域に拘らない、内科医として必要な臨床能力を取得し、疾患そのものではなく、疾患を有する患者様をどう診ていくかという内科臨床医としての全人的な育成を行う。また、内科診療における問題点を発見、解決する能力を身につける。

6. 取得手技

血液疾患における各疾患の診断基準を理解し、的確な診断および各疾患の治療について基礎的判断力が修得できる。

基本的手技を中心に集学的治療に到る各種手技（化学療法、感染症対策（無菌管理）、輸血療法、自家末梢血幹細胞採取・凍結保存処理、自家末梢血幹細胞移植、骨髄穿刺・生検、検体処理・保存（腫瘍細胞処理））に関してもある程度修得できる。

7. 研修期間：6ヶ月

8. 募集人数：1名

9. 診療科の実績

2021年度年間延べ入院患者数

主要疾患	入院患者数
悪性リンパ腫	278
多発性骨髄腫	76
急性・慢性白血病	52
骨髄異形成症候群	44
再生不良性貧血	9
特発性血小板減少性紫斑病	13

など

10. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 6名

診療科研修の指導にあたる医師 3名

主として研修指導にあたる医師の氏名 齊藤 明生（経験年数 20年）

11. コンセプト

当科で取り扱う疾患は悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、骨髄異形成症候群、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、伝染性単核球症、HIV感染症等多岐に渡るのが特徴である。これら血液疾患の診療に必要な基礎的知識および技能を修得する。血液疾患は全身的な症状を有し、また多くの合併症を引き起こす可能性が高いため、幅広い内科的知識を要求される。視野の広い診療を目指す姿勢を身につける。

12. 共通領域研修について

研修教育プログラム（週一回）

臨床カンファレンス（週一回）